

(花村武史家文書) 河川交通関係資料 ② 翻刻

[表紙]

明和七庚寅年

当村湊之儀二付

竹ヶ鼻村と出入一卷

但御裁許被為 仰付候迄之留

[中表紙]

明和七庚寅年

郡御奉行所江湊願一卷

羽栗郡本郷村

[裏表紙]

濃州羽栗郡本郷村

庄屋善六

(花村武史家文書) 河川交通関係資料 ②の1 翻刻

指出申一札之事

一当村湊之儀、着船追々相

減シ、村中一統甚難義ニ御座候。

然者、先年之通ニ被為仰付

被下置候様、御願可被下候、若々

願筋難相叶候義ニ御座候ハ、

湊ニ付而之諸御役等御免之

御願被成可被下候、右両様何れへ

共、此度者急度御裁許被成

下候様、幾重茂御願可被下候。此

節、村中至極困窮之砌、至而

迷惑ニ奉存候得共、難捨置。

右願筋ニ付而、諸入用割符

之儀者、村中相談之上、急度

相勤可申候間、此段、

御屋敷様江御達シ被成、厚ク

御願可被下候。為其村中、為

惣代五人之内耆人ツゝ印形  
差出申候処、如件。

(一七七〇)

明和七年 本郷村

寅正月

曾平次 印

林右衛門 印

鍋太郎 印

幸右衛門 印

新蔵 印

幸助 印

弥左衛門 印

曹詮 印

半右衛門 印

彦右衛門 印

彦次郎 印

九兵衛 印

清七 印

当村

御庄屋所